

診療報酬も介護報酬も厳しい状況にあり、その上、受診者、利用者に多大な負担を課す政策です。今の流れをしっかりと注視していく必要があります。それは今、医療、介護、福祉が大変革の時にあると思われるからです。

医療、介護、福祉を担当する私達が、一致団結して良質の医療が確保出来るように頑張らなければなりません。

医師の資格を持つものが、日本医師会を中心に力を結集することが求められています。

北海道医師会の事業遂行のために、会員の皆様のご協力、ご支援を心よりお願い申し上げ、開会に当たってのご挨拶といたします。」と述べ、続く来賓挨拶では、高橋はるみ北海道知事より祝辞をいただいた。

◇

平成26年度事業中間報告ならびに会計報告、監査報告の後、議案審議に入り、議案第1号「北海道医師会裁定委員補欠選挙に関する件」については、帯広市の小倉浩夫候補が当選した（選挙結果は、前号掲載の「北海道医師会告示第108号」のとおり）。

議案第2号「平成26年度会費減免および平成27年度会費減免に関する件」については、平成26年度に申請のあった申請者1,024名の会費減免について、また、平成27年度の会費減免に、医師法に基づく研修医（初期臨床研修）の全額免除および女性会員の出産育児減免を追加することにつき理事者提案のとおり承認された。

次いで、平成27年度事業計画ならびに平成27年度予算について、理事者からの報告を承認した。

その後、当面の医療政策について、理事者より報告の後、代表質問ならびに一般質問を受け、理事者からそれぞれ答弁を行った。

◇代表質問◇

1. 上村利彦代議員（道北ブロック）：
「医師資格証について」
（答弁：山科常任理事）
2. 松村茂樹代議員（中央ブロック）：
「混合診療と医療の営利産業化について」
（答弁：小熊副会長）
3. 阿久津光之代議員（後志ブロック）：
「後志地区の周産期医療について」
（答弁：目黒常任理事）

◇一般質問◇

1. 大道光秀代議員（札幌市医師会）：
「同一建物の訪問診療費減算について」
（答弁：橋本常任理事）
2. 三谷郁生代議員（札幌市医師会）：
「医療費抑制政策と患者負担増について」
（答弁：笹本常任理事）
3. 小笠原実代議員（渡島医師会）：
「中学生のピロリ菌検診を学校健診に」
（答弁：後藤常任理事）

最後に、長瀬会長より閉会の挨拶が行われ本代議員会の全日程を終了した。

〈事業計画・予算関係、質疑応答等は、順次当会ホームページに掲載予定〉

お知らせ

大卒社会人経験者等への看護師学校養成所PRポスターについて

◇医療関連事業部◇

厚生労働省では、看護学以外の領域の大卒者または大学を卒業後、社会人としての就業経験を経た方に看護師資格取得を目指していただくことを目的に、看護師学校養成所入学のPRポスターを作成し、全国の大学、短期大学および公共職業安定所に配布され、厚生労働省ホームページにも掲載される予定ですので、お知らせいたします。